

- 問1 将軍のあとつぎ問題などを原因として1467年に発生し、約11年間にわたって続いた戦乱は、幕府の力を決定的に弱め、社会全体に「下剋上」の風潮を広める大きな契機となりました。この戦乱の名称を選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 承久の乱 2. 観応の擾乱 3. 応仁の乱 4. 島原の乱
- 問2 1549年にフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸して日本に伝えたキリスト教について、その宗派と布教を担った組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 徳島公立入試 類似)
1. カトリック - イエズス会 2. カトリック - 十字軍 3. プロテスタント - イエズス会 4. プロテスタント - 清教徒 (ピューリタン)
- 問3 武士に関わる法律の歴史について、鎌倉時代に北条泰時が制定した「御成敗式目」、江戸時代に幕府が大名を統制するために制定した「武家諸法度」、そして戦国時代に各大名が領国支配のために制定した法律を順に並べたものとして適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀公立入試 類似)
1. 御成敗式目 - 分国法 - 武家諸法度 2. 分国法 - 御成敗式目 - 武家諸法度 3. 御成敗式目 - 武家諸法度 - 分国法 4. 武家諸法度 - 分国法 - 御成敗式目
- 問4 16世紀半ば、種子島に漂着した西欧人との交流によって日本にもたらされた武器について、その名称と伝えた人々の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 火縄銃をポルトガル人が伝えた。 2. 大砲をスペイン人が伝えた。 3. 日本刀をオランダ人が伝えた。 4. 弓矢を中国 (明) の商人が伝えた。
- 問5 「朝倉孝景条々」や「甲州法度次第」といった分国法の中に見られる、戦国大名による統治の具体的な特徴として正しいものを一つ選びなさい。 (2023年 福井公立入試 類似)
1. 家柄に関わらず有能な人材を登用するルールや、許可なく城を構えることを禁止する規定を設けた 2. キリスト教を保護し、ヨーロッパとの自由貿易を領国内の全ての商人に奨励した 3. 将軍の許可なく大名同士が婚姻を結ぶことを禁じ、参勤交代の義務を明文化した 4. すべての土地と人民は天皇に帰属するという公地公民の原則を再確認した
- 問6 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の良質な銀を生産したことで知られ、2007年にはその歴史的価値が認められて世界文化遺産に登録された鉱山を選んでください。 (2019年 和歌山公立入試 類似)
1. 石見银山 2. 佐渡金山 3. 生野银山 4. 足尾銅山
- 問7 鉄砲の伝来がその後の日本の戦いや社会に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄公立入試 類似)
1. 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。 2. 武士個人の技術がより重視されるようになり、刀や弓矢による一騎打ちが増加した。 3. 外国との交易が危険視されたため、すぐに鉄砲の使用や製造が全面的に禁止された。 4. 鉄砲の製造が困難であったため、一部の特権階級のみが儀礼用として保持した。
- 問8 室町時代後半から戦国時代にかけて、実力のある者が身分の高い者に打ち勝って勢力を広げていく社会風潮が見られました。このような風潮を何と呼びますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 惣領制 2. 下剋上 3. 徳政令 4. 寄合
- 問9 16世紀半ばに種子島へ伝来した鉄砲は、その後の日本の戦いや社会に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 足軽などの歩兵による集団戦法が主流となり、戦いの規模が拡大した 2. 騎馬武者の一騎打ちが重視されるようになり、個人の武勇がより重んじられた 3. 鉄砲の製造が困難であったため、京都周辺の限られた大名だけが勢力を伸ばした 4. 武器の威力が向上したため、平地での戦闘を避けて山城にこもる戦術が一般的になった
- 問10 1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。 2. ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。 3. 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。 4. ルターが自身の教を世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先に選ばれた。
- 問11 1543年に九州南部の種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について、その後の歴史に与えた影響として正しいものはどれか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 戦いが騎馬による一騎打ちから、足軽による集団戦へと変化し、城の構造も強固な石垣を持つものへと変化した。 2. この武器の輸入を目的として、室町幕府の足利義満によって明との間で勘合貿易が開始された。 3. 鎌倉時代にモンゴル帝国が襲来した際、日本の武士が防衛のためにこの武器を組織的に使用して撃退した。 4. この武器の伝来をきっかけに、日本独自の武術である剣術や弓術が廃れ、すべての合戦がこの武器のみで行われるようになった。
- 問12 15世紀末のヨーロッパでは、肉の保存や調味に不可欠な香辛料をイスラム勢力を介さず直接入手することが求められていました。この背景のうち、ポルトガルの支援を受け、アフリカ大陸南端の喜望峯を回りインドへ到達する航路を切り開いた人物は誰ですか。 (2018年 大阪公立入試 類似)
1. バスコ＝ダ＝ガマ 2. コロンブス 3. マゼラン 4. マルコ＝ポーロ
- 問13 石見银山では16世紀前半に「灰吹法」という新しい精錬技術が導入されたことで、銀の生産量が飛躍的に増大しました。この銀が当時の社会や国際情勢に与えた影響についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 大量の銀が海外へ輸出されたことで、16世紀後半には日本の銀が世界の産出量の約3分の1を占めるほどになった。 2. 生産された銀はすべて国内の寺院や仏像の装飾に費やされ、戦国大名の信仰心を深める役割を果たした。 3. 銀は貴重な軍事機密として厳重に管理され、江戸幕府が成立するまで海外の商人と取引されることはなかった。 4. 銀の増産によって日本独自の通貨制度が完成し、中国から輸入されていた銅銭は一切使われなくなった。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 応仁の乱	この戦乱によって政治の中心地である京都が荒廃し、将軍や幕府の権威が失墜しました。その結果、地方の武士たちが幕府の指示を仰がずに実力で領地を奪い合うようになり、下剋上の世の中、すなわち戦国時代へと突入していきました。
問2	答え 1 カトリックー イエズス会	日本に最初に伝わったキリスト教は、ローマ教皇を中心とするカトリック教会の一派である「イエズス会」によるものでした。当時、ヨーロッパでは宗教改革によって新教（プロテスタント）が勢力を伸ばしており、これに危機感を抱いた旧教（カトリック）側のイエズス会が、アジアなどへの布教を通じて信者を増やそうとしていました。
問3	答え 1 御成敗式目 - 分国法 - 武家諸法度	1232年に鎌倉幕府が定めた御成敗式目は、武家社会における最初の体系的な法律です。その後、戦国時代に各地の大名が分国法を定め、江戸時代に入ると、1615年に徳川秀忠の代で全国の名を統制するための武家諸法度が制定されました。分国法は、幕府による全国的な法支配が途絶えていた時期に、地域限定で機能した法という位置づけになります。
問4	答え 1 火縄銃をポルトガル人が伝えた。	1543年に種子島へ漂着したポルトガル人によって、火縄銃（鉄砲）が日本に初めて伝えられました。当時の種子島の領主はこれを買取り、刀鍛冶に命じて仕組みを研究させ、国産化を成功させました。これがきっかけとなり、鉄砲は瞬く間に日本全国の戦国大名の間へ普及することとなりました。
問5	答え 1 家柄に関わらず有能な人材を登用するルールや、許可なく城を構えることを禁止する規定を設けた	戦国大名は生き残りをかけて、実力主義による人材登用（朝倉孝景条々など）や、家臣が勝手に拠点を作って反乱するのを防ぐための城郭の制限を行いました。選択肢にある「婚姻の禁止や参勤交代」は江戸時代の武家諸法度の内容であり、「公地公民」は飛鳥時代の制度です。
問6	答え 1 石見銀山	戦国時代から江戸時代にかけて、日本は世界有数の銀産出国でした。特に島根県の石見銀山は、16世紀に導入された「灰吹法（はいふきほう）」という新しい精錬技術によって生産量が飛躍的に増大しました。この銀は「ソーマ銀」とも呼ばれ、東アジアやヨーロッパとの交易においても重要な役割を果たしました。2007年に、環境に配慮した鉱山運営や流通の歴史が評価され、世界文化遺産に登録されています。
問7	答え 1 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。	鉄砲の普及により、それまでの騎馬武者による一騎打ち中心の戦い方から、足軽による集団戦術へと大きく変化しました。織田信長が長篠の戦いで鉄砲隊を活用したことはその代表例です。また、鉄砲や大砲の攻撃に耐えるため、石垣を高く積み上げ、広い堀を持つ巨大な城郭が築かれるようになるなど、軍事・建築の両面に大きな変革をもたらしました。
問8	答え 2 下剋上	室町幕府の権威が衰退した応仁の乱以降、身分に関わらず実力のある者が台頭する「下剋上」の風潮が強まりました。これにより、もともと守護大名の家臣であった守護代や、さらにその下の国人が、主君を追放して戦国大名へと成長していく動きが各地で加速しました。
問9	答え 1 足軽などの歩兵による集団戦法が主流となり、戦いの規模が拡大した	鉄砲はそれまでの弓や刀に比べ、習得が比較的容易で高い殺傷能力を持っていたため、大量の足軽に装備させて組織的に運用する集団戦法を生み出しました。これにより、一騎打ちを中心とした従来の戦い方は衰退し、織田信長が長篠の戦いで活用したように、大規模な軍事力を持つ戦国大名が有利になる社会構造へと変化しました。
問10	答え 1 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。	ルターによる宗教改革の影響で、ヨーロッパ内でのカトリック教会の勢力が弱まりました。これに危機感を抱いたカトリック側は、失った勢力を補い、教勢を回復させるために、大航海時代でつながったアジアなどの海外諸国へ積極的に進出しました。イエズス会の活動はこの一環であり、日本へのキリスト教伝来もその大きな流れの中に位置づけられます。
問11	答え 1 戦い方が騎馬による一騎打ちから、足軽による集団戦へと変化し、城の構造も強固な石垣を持つものへと変化した。	1543年に種子島に伝わった鉄砲（火縄銃）は、戦国時代の合戦のあり方を根本から変えました。それまでの騎馬戦中心から、訓練された足軽による集団戦が主流となり、織田信長などの有力大名がこれを活用して全国統一を進めました。また、鉄砲の威力に対抗するため、城は高い石垣や堀を備えた大規模なものへと進化しました。
問12	答え 1 バスコ=ダ=ガマ	ポルトガルはアフリカ沿岸を南下する独自のルートを探索していました。1498年にこの人物がインドのカリカットに到達したことで、アジアとの直接貿易が可能になり、ポルトガルに莫大な富をもたらしました。
問13	答え 1 大量の銀が海外へ輸出されたことで、16世紀後半には日本の銀が世界の産出量の約3分の1を占めるほどになった。	灰吹法の導入により高品質な銀の大量生産が可能になると、その銀は博多などの港を通じて中国（明）や朝鮮半島、さらには東アジアに進出していたポルトガルやスペインとの貿易に用いられました。これにより、日本は世界有数の銀産出国として世界経済に組み込まれることになりました。戦国大名が石見銀山を欲したのは、この銀を背景とした強大な経済力や武器・物資の調達能力を手に入れるためです。